

## 曙

内村鑑三が書いた『代表的日本人』を四十年前に読んだ。日本の文化や思想を欧米に紹介した本で、西郷隆盛や上杉鷹山、日蓮など五人の日本人の生涯が書かれている。その本の内容もうすらとしか覚えてなかつたが、読了後にずっと引っかかっていたこと（どいつもも、何十年も本のこと自体も忘れていたが）に対する答えを、今年あるコラムを読んで知ることができた。

疑問に思つていたこととは日蓮に関する事である。私自身、日蓮の熱量による押しの強さから少し距離をおいていたのもあつたが、キリスト教徒としての「代表的日本人」ともいえる内村が、何に選んだかであった。そのコラム

によると内村は、札幌農学校で外国人教師の影響でキリスト教に帰依し、キリスト教徒として、地上に神の正義、平和の理想を実現するところがキリスト教徒の使命であると確信した。キリスト教の国と思つて行つたアメリカは、実際には拝金・利己主義と人種差別にまみれた国（二十一世紀の現在でも、ドラえもんに出てくるジャイアンのような「お前の物も俺の物」みたいな主張を感じることもあるが）であった。失望した内村は、反動で日本を再発見し、信念を決して曲げない態度の日蓮を、宗教改革の中心であつたルターの先駆と位置づけ、キリスト教を知らない時代から、欧米よりも遙かに本物のキリスト教徒が日本にいたことを『代表的日本人』に書い

たのだということであつた。なるほどと思い、再読した『代表的日本人』には、日蓮の欠点を認めつつ「しんそこ誠実な人間、もつとも正直な人間、日本人のなかで、このうえなく勇敢な人間であります。」とあり、「貧しい人たち、しいたげられた人たちに對しては、まことにやさしい人物でした。」と書いてあつた。人間が生きていく上で大事なことは、誠実で、正直で、勇敢であることであり、日蓮が、この三つの徳を備えた人物であつたからこそ、代表的な日本人として選んだのだと思った。

高次脳機能障害者支援法が、昨年の十二月十六日に参院本会議で全会一致により可決、成立し、二〇二六年四月に施行されることになつた。個人的な意見として、高次脳機能障害者と家族の支援法という名称だと良かつたと思うところもあるが、法の施行により、様々なことが良い方向に向かうことに期待したい。高次脳機能障害者の支援を行うあけぼのも慢性的な赤字施設であり、数年前は経営

第89号

令和8年2月1日発行

広島県立  
総合リハビリテーションセンター  
**あけぼの**  
〒739-0036  
東広島市西条町田口295-3  
TEL(082)425-1455



的に非常に厳しい時があり、存続についての議論もあつた。そうした中、高次脳機能障害者の支援を応援してくださつた方は、心配してあけぼのを訪ねてくださり、利用者や職員の思いに耳を傾けられた。日蓮が鎌倉時代に書いた、心の弱つた人を勇気づけた現存する手紙と同じように、様々な境遇の人達の悩みや悲しみに向き合い、寄り添い、励ましてくださる存在が、いつも私たちを支えてくれるのだと思う。

# 曙 光

令和8年2月1日発行

広島県立総合リハビリテーションセンター あけぼの

第89号〔2〕

## 生活訓練グループ

自立訓練（生活訓練）Bグループでは、就労を目指す利用者を中心に、仕事に必要な体力、他者との協調性などが身につけられるよう支援しています。収集作業、選別作業、納品作業、清掃作業などを通して、職員や利用者同士と協力したり、地域の方と接点をもったりすることで、就労への意欲がより高まることが期待されます。



### 資源回収

回収している資源は、段ボール、新聞、雑誌などの古紙、空き缶です。



**段ボール・古紙回収** 利用者家族や職員の家庭から出た段ボールや古紙を回収し、倉庫に収めます。大きな段ボールは体でしっかりと支え、台車へ運ぶ力が必要です。また、受け渡しを行う際には他者とのコミュニケーションが重要です。



**古紙の縛り作業** 新聞紙と雑誌の分別に注意し、ビニール紐で縛ります。



回収先での入退室は、適切な声量や言葉遣いで挨拶をして、礼節に気をつけながら実施しています。

**空き缶分別** アルミ缶とスチール缶に分別します。表示の確認や対象外のものを分別する際に注意力が必要です。



**積み込み・納品作業** 軽トラックの荷台に積み込み、近くのリサイクル業者へ納品します。

積み込みは、他者と協力し、安全に気を付けながら積み込みます。

### 清掃活動



あけぼの正面玄関や職員玄関、施設の外周を中心に屋外の清掃活動を行っています。また事務所内にあるシュレッダー清掃も行っています。

進路の候補となる就労先には、施設外就労として清掃作業もあるため、就職を想定した日中活動を取り入れています。清掃活動を通して、隅々まで掃き残しがないか丁寧に取り組む姿勢だけでなく、周囲へ注意や意識を向け、事故や怪我をしないよう、安全面に配慮する力も身につけられるよう取り組んでいます。事務所への入退室でも、挨拶は適切な声量や言葉遣いで実施し、正しい礼節を身につけています。

## 暁 光

# 機能訓練グループ

「障害者スポーツ」と「言語訓練」の取り組みについて紹介します。

## 障害者スポーツ(ディスゲッターナイン)

「ディスゲッターナイン」は、9枚のパネルをディスクで打ち抜く競技です。片麻痺や失調のある方も、楽しみながら体を動かすことができました。



## 言語訓練(絵カード)

失語症のある方に対して、絵カードを使った言語訓練を行っています。イラストの名称を言葉や書字で答えてもらうことで、言語機能の向上を目指します。



## 生活介護グループ

12/21 家族参観の日にクリスマスツリーの装飾を行いました。カップで作ったベルにシールを貼り付け、各々ツリーの好きな箇所に飾り付けを行いました。華やかなクリスマスツリーが完成しました🎄



## 曙 光

## 通所グループ

外出訓練を行いました！



外出訓練では公共交通機関を利用する練習や目的地まで安全に行くためのルート確認などを行っています。実施する際には職員が同行し、利用者の方が安全に実施できるよう配慮、支援しています。今回、実習先のA社へ公共交通機関を利用して通うこととなった利用者の方から、バスの料金支払いに不安を感じているという話がありました。利用時の手順確認や実習先へのルート確認は職員が同行し、安心して実習先へ通えるよう練習を行いました。利用者の方からも不安がなくなったとの声が聞かれました。

不安がなくなり、  
安心しました！ 決心

## 利用者の動き

(令和7年10月1日～令和8年1月31日)

《新規利用者》 5名 (生活訓練5) (通所3, 入所2)

【利用経路】高次脳機能センター 5 (外来1, 入院4)

《利用終了者》 4名 (生活訓練4) (通所2, 入所2)

【進路先】日中活動：就労継続支援B型3, 生活介護1

生活の場：自宅1, グループホーム3

利用状況 令和8年2月1日現在

	生活訓練 (定員24)	就労移行支援 (定員6)	生活介護 (定員30)	施設入所支援 (定員40)
在籍数	18	1	11	23

利用のご相談は  
隨時受け付けて  
います。



## 編集後記

暦の上ではそろそろ春になりますね。「春はまだだろ」と言いたいくらい寒い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。早いもので年が明けて一ヶ月も経ってしまいました。毎年ふわっとした目標を立ててはいますが、年が暮れる頃にはどんな目標を立てていたかも忘れてしまっています…ちなみに今年の目標は「健康的な生活を送る」です。(もうできませんが…)  
皆様も後悔ない年を送れるよう、願っています。

今回は、利用者の伊達裕之さんに「曙光」を書いていただきました。依頼した際は快く受け下さいました。迷いなく筆を走らせ、堂々とした作品が完成しました。伊達さんにお話を聞くと、「他にも書くものある?」と意欲を見せておられました。

## 題字紹介